



令和5年度 松江市立皆美が丘女子高等学校

# 女子高だより 第8号

女子高だよりは女子高の“今”を  
皆さまにお届けします

発行日 令和5年11月16日(木)

「語るべき文化をつなぐ」

ヒューマンライツ部長 足立 芳樹

日本において、早春の頃から、梅や桃の花が咲き始め、そして、桜の満開前に卒業生を送り、満開の桜の下に新入生を迎えます。そして、4月から5月にかけて、ボタンやツツジの花が紫、ピンク、純白を競います。夏になれば、あじさいやひまわりの花々が咲きほこり、秋になれば、コスモスやききょうなどの華やかな花々が咲き、そして、あざやかな紅葉が私達の心を和ませます。また、冬になっても、シクラメンや梅の花々が寒さに負けずたくましく開花します。特長や個性を持った木々花々がそれぞれの季節の風景を構成し、その4つの季節があつて1年であり、どの1つが欠けても日本の自然や風景とは言えません。

さて、今年度も本校では、生徒会誌「青楓」の発行に向けて準備する季節となり、1年生も2年生も3年生も、それぞれの学年のどの1つが欠けても素晴らしい「青楓」は完成しません。今年度の「青楓」も、生徒会執行部を中心に全校生徒の皆さんが一生懸命に書き綴る、1年間の記録と日頃の思いが込められている1冊となり、生徒の皆さんが見事な花を咲かせるに違いありません。そして、3学期に完成する「青楓」を読んだ生徒の皆さんが、「あの日」「あの時」「あの場所」での思いや頑張りを思い出し、将来の糧にするよう期待しています。

図書準備室に「青楓」第3号(1959年度発行)がありました。その編集後記には、「この青楓は、3年生の皆さんが、自ら歩んできた道を振り返り、やがて入って来る新1年生の皆さんには本校の生活を知らせる道しるべとして役立ってほしいと思います。私たち生徒会執行部は、苦勞をそこにかけて編集してきました」と記載されています。今年度も「青楓」が発行されれば第67号となります。人間一人ひとりの人生は、マラソンにたとえられることがあります。生徒会誌は、駅伝にたとえられると思います。この生徒会誌を駅伝のタスキと考えれば、約70年の長き期間、タスキをつないできたことになりま。その軌跡は、本校の卒業生の方々が作り上げた語るべき文化と言えます。今後も継続して発行し、伝統の灯をつなげて欲しいと思っています。

## ロードレース大会

11月1日(水)にロードレース大会を行いました。  
ロードレース大会は、女子高をスタートし、朝靄地区を周回する約5キロのコースを走りました。



また、このロードレース大会に合わせて生徒を激励するために、保護者の皆様から走り終わった生徒たちにアイスが配られました。



## 2年生国際コミュニケーション科 研修旅行

10月18日(水)～21日(土)までの4日間、2年生国際コミュニケーション科の生徒たちが沖縄へ研修旅行に出かけました。  
今回の研修旅行で生徒たちは、沖縄の歴史や文化について学び、現在の沖縄の姿を知ることによって異文化交流について理解を深め、集団行動を通じてより良い人間関係や社会性を養うことができました。

首里城公園



島のガラス館にて  
琉球ガラス工芸品製作



マリンスポーツ体験



ひめゆり平和祈念資料館



世界遺産 首里城



旅行では、首里城公園や国際通り、美ら海水族館を訪れたり、リザンシーパークビーチでのマリンスポーツ体験をしたり、また、ひめゆりの塔での平和学習を行ったりするなど様々な研修を通じて沖縄について学ぶことができました。



発行元

松江市立皆美が丘女子高等学校

住所 松江市西尾町540番地1

TEL 0852-39-0216(事務室)

0852-39-0217(職員室)

FAX 0852-39-0829

URL

<https://minamigaoka-girls-hs.matsue.ed.jp/>